

導く力

人類救済の核エネルギーへ

長瀬 隆

『樺太よ遠く孤独な』、『ヒロシマまでの長い道』、ペレヴェルゼフ『ドストエフスキーの創造』、『微笑の沈黙』、『日露領土紛争の根源』、『ドストエフスキーとは何か』、そして最近作『トリウム原子炉革命—古川和男・ヒロシマからの出発』等を踏まえた集大成。賛否のいずれもが核エネルギー炉を既存のウラン軽水炉原発のみで捉えてきた日本のガラパゴス的状况を打破し、トリウム熔融塩炉 FUJI による「第二の核時代」を目指す。



9784885462849



1920030017009

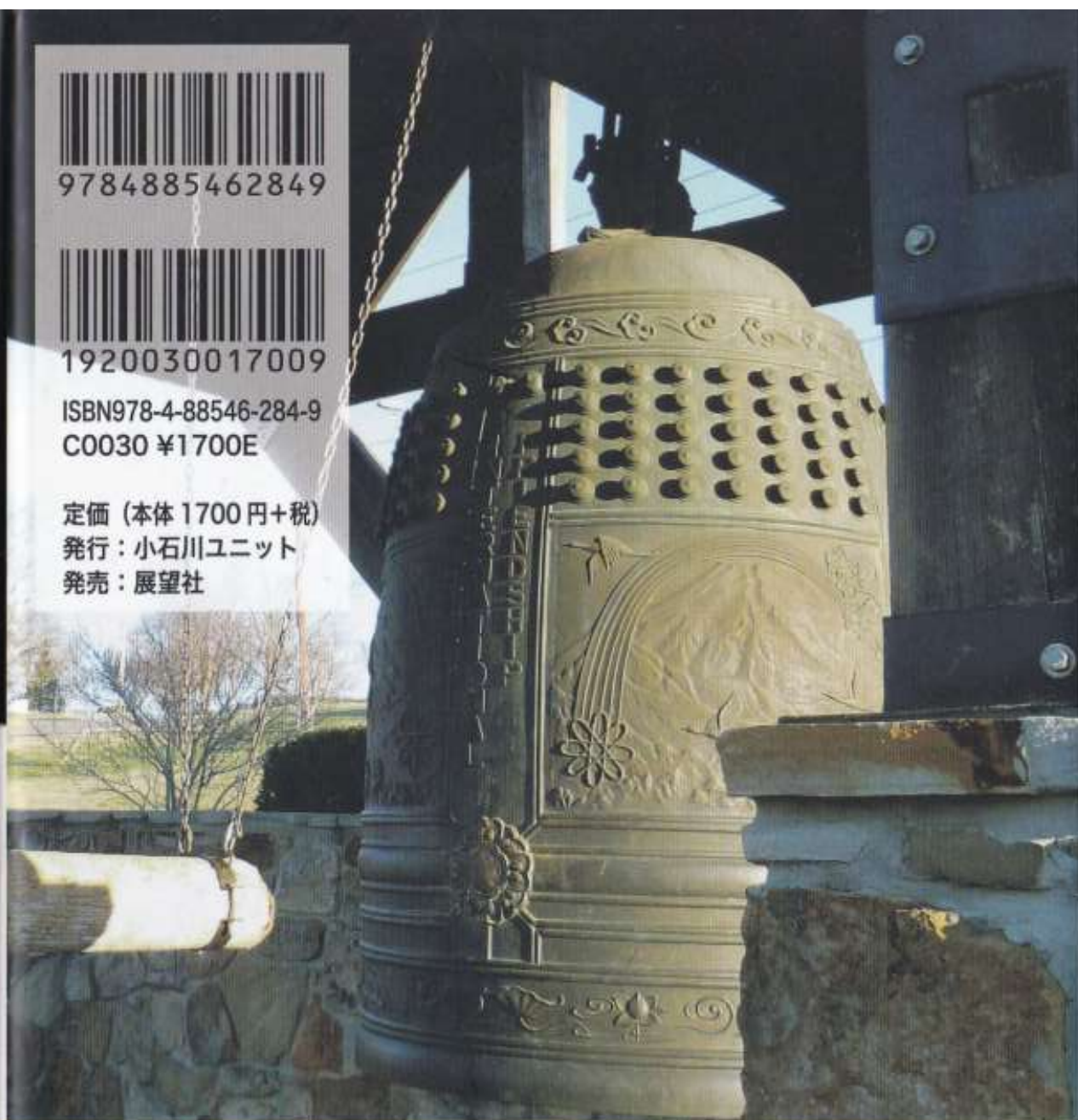
ISBN978-4-88546-284-9

C0030 ¥1700E

定価 (本体 1700 円+税)

発行：小石川ユニット

発売：展望社



古川博士はヒロシマ・ナガサキの禁忌の声を聴き、トリウム原子炉の開発に向かい生涯をこれに捧げた。著者夫妻は私の年来の友人・同志であり、夫人は古川氏の幼馴染と聞く。「博士の遺言に耳傾けよ」と説いているが、私もまたこれに従うのである。

吉田嘉清 (日本原水協元代表理事)